

「薬局」2011年3月増刊号『病氣と薬パーフェクトBOOK 2011』正誤表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。

「薬局」2011年3月増刊号『病氣と薬パーフェクトBOOK 2011』に以下の誤りがございました。

深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

●「目次」 xvii

誤:

- ・多系統萎縮症……………923
- ・遺伝性脊髄小脳変性症……………925

正:

- ・**遺伝性脊髄小脳変性症**……………923
- ・**多系統萎縮症**……………925

●「気管支喘息治療薬」p.19 表1

誤:

ロイコトリエン受容体拮抗薬	オノン <sup>®</sup>	Step 1~4
	シンブレア <sup>®</sup>	

正:

ロイコトリエン受容体拮抗薬	オノン <sup>®</sup>	Step 1~4
	<b>シンブレア<sup>®</sup></b>	

●「心不全」p.276 表5

誤:

表5 ジゴキシン血中濃度上昇度と阻害薬の血中濃度の関係

薬剤	血中濃度 ( $\mu$ mol/L)	血中濃度上昇 (%)
キニジン	6.0~12	100~200
クラリスロマイシン	1.0~4.0	100~150
アミオダロン	0.6~3.0	70~100
イトラコナゾール	0.2~1.5	40~80
プロパフェノン	0.2~1.5	40~60
ベラパミル	0.3~0.8	20~80
シクロスポリン	0.2~0.7	10~60
スピロラクトン	0.2~1.0	0~20

正:

表5 慢性心不全治療薬の副作用と対処方法

薬剤	副作用症状	対処方法
ACE阻害薬	空咳	投与中止して、ARBへの変更
ACE阻害薬/ ARB	血管浮腫(呼吸困難を伴う咽頭、顔面などの腫脹)	投与中止して、エピネフリン注射、気道確保
	腎機能悪化(尿量減少、血清クレアチニン上昇)	血清クレアチニン値が1か月に30%以上上昇の場合は中止
	高カリウム血症(倦怠感、動悸)	減量や利尿薬追加投与で改善しなければ投与中止、または高カリウム血症治療を併用
$\beta$ 遮断薬/ $\alpha$ $\beta$ 遮断薬	心不全の悪化(浮腫、息苦しい、倦怠感)、徐脈	投与中止して、ピモベンダンやジギタリスを併用して再導入を検討
	喘息症状の出現(息苦しい)	投与中止
抗アルドステロン薬	女性化乳房(スピロラクトン)	投与中止
	高カリウム血症(全身倦怠感、動悸)	投与中止して、高カリウム血症治療
ループ系利尿薬/サイアザイド系利尿薬	低カリウム血症(全身倦怠感、嘔気・嘔吐、食欲不振)	投与中止、減量またはカリウム製剤の併用、スピロラクトン併用を検討 脱水の場合は補液(維持液など)で補正 柑橘類や野菜摂取の食事指導
	耐糖能異常	減量または定期的な血糖値モニタリングにより適切な対処
	高尿酸血症	尿酸生合成阻害薬の併用を検討
ジギタリス	消化器症状、視覚異常(ちらつき、黄視、複視)、精神神経症状、徐脈	ジギタリス中毒症状の場合は、投与中止して血中濃度を測定し、治療濃度になるよう投与设计する

●「痔核・痔瘻・裂肛」p.460

誤:

■処方例と処方意図—

【Rp. 1】①～④を併用

- |                                  |             |
|----------------------------------|-------------|
| ①ネリプロクト <sup>®</sup> 坐剤または軟膏(2g) | 1日2回 朝, 就寝前 |
| ②強力ポステリザン <sup>®</sup> 軟膏(2g)    | 1日2回 朝, 就寝前 |
| ③ポラザ <sup>®</sup> G坐剤または軟膏(3.4g) | 1日2回 朝, 就寝前 |
| ④ポラギノール <sup>®</sup> N坐薬(1.75g)  |             |
| または軟膏適量: 1日1～2g 1日2回 朝, 就寝前      |             |

正:

■処方例と処方意図—

【Rp. 1】①～③を併用

- |                                  |             |
|----------------------------------|-------------|
| ①ネリプロクト <sup>®</sup> 坐剤または軟膏(2g) | 1日2回 朝, 就寝前 |
| ②強力ポステリザン <sup>®</sup> 軟膏(2g)    | 1日2回 朝, 就寝前 |
| ③ポラザ <sup>®</sup> G坐剤または軟膏(2.4g) | 1日2回 朝, 就寝前 |

(※ポラギノールN坐薬は2010年3月31日に経過措置期間が満了のため保険適応外)

●「シェーグレン症候群」p.823 表1

誤:

薬剤(商品名)	保険適応
ピロカルピン塩酸塩 (エボザック <sup>®</sup> 、サリグレン <sup>®</sup> )	シェーグレン症候群の口腔乾燥症状の改善
セビメリン塩酸塩 (サラジェン <sup>®</sup> )	シェーグレン症候群の口腔乾燥症状の改善
アネトールトリチオン (フェルビテン <sup>®</sup> )	シェーグレン症候群に伴う唾液分泌減少の改善

正:

薬剤(商品名)	保険適応
ピロカルピン塩酸塩 (サラジェン <sup>®</sup> )	シェーグレン症候群の口腔乾燥症状の改善
セビメリン塩酸塩 (エボザック <sup>®</sup> 、サリグレン <sup>®</sup> )	シェーグレン症候群の口腔乾燥症状の改善
アネトールトリチオン (アテネトール <sup>®</sup> )	シェーグレン症候群に伴う唾液分泌減少の改善

※フェルビテンは2009年6月に販売中止

●「神経疾患」扉 p.891

誤:

- ・多系統萎縮症……………923
- ・遺伝性脊髄小脳変性症……………925

正:

- ・遺伝性脊髄小脳変性症……………923
- ・多系統萎縮症……………925

●「変形性関節症」p.1182

誤:

■処方例と処方意図—

【Rp. 1】①～③を併用

- |                               |         |
|-------------------------------|---------|
| ①セレコックス <sup>®</sup> 錠(100mg) | 2錠 1日2回 |
| ②ロキソニン <sup>®</sup> 錠(60mg)   | 3錠 1日3回 |
| ③タケプロン <sup>®</sup> OD錠(15mg) | 1錠 1日1回 |

正:

■処方例と処方意図—

【Rp. 1】①単独投与もしくは②③の併用

- |                               |         |
|-------------------------------|---------|
| ①セレコックス <sup>®</sup> 錠(100mg) | 2錠 1日2回 |
| ②ロキソニン <sup>®</sup> 錠(60mg)   | 3錠 1日3回 |
| ③タケプロン <sup>®</sup> OD錠(15mg) | 1錠 1日1回 |